



第91回例会風景

### チャンプニュースレター104号 目次

○山本代表のメッセージ	.....	2
○アメリカよもやま話	山本儀子 .....	3
○第91回例会報告	.....	4~5
○納涼会を開催	手島達夫 .....	5
○関西支部9月例会報告	岡田 優 .....	6~7
○チャンプと次世代チャンプについて	山本儀子 .....	8
○活動会メモ	.....	8
○次回例会案内等	.....	8

# 山本代表のメッセージ



Dear CHAMP Members and Members to be :

やっと涼しくなりましたねー。お元気にお過ごしでしょうか？

地球の温暖化をこれほど実感する年はありませんね。《極暑》に加え、地震と大雨土砂崩れ・洪水災害が次々と日本列島を襲っています。前代未聞の気候変動です。

前号ではく混沌とする世界情勢><日本の置かれている立場><若者世代への期待>などについて語りましたが、10月中旬の今、残念ながら地球規模での様々な混沌状態は続いています。ロシア・ウクライナ戦争は終わりが見えず、イスラエルと中東諸国の紛争は拡大し全面戦争に発展しそうです。まさに一触即発の事態になっています。毎日のニュースを見る度に犠牲になるのはいつも庶民と痛感します。第二次世界大戦からほぼ80年経つのに一体何を人間は学んだのでしょうか。諸国リーダー達の責任は看過できないのです。

**本号のメッセージは「災害に備えて下さい」です：**

「災害国日本」と言われますが、今年だけを見ても私達それぞれがどのような災害が起きても対応できるように、最小限の《備え》と《心構え》が必要と再認識します。

皆さんにとって何が一番大切でしょうか。勿論“命”と安全・健康、そして家族ですね。健康維持には多少なりとも個人が日頃の努力で寄与できるとは言え、“命”を守るための【安全確保】には個人だけではなく、地域・国全体の認識と対策が不可欠です。

遅ればせながら近年やっと日本で自然災害に対する意識が高まりました。各地の防災訓練やシミュレーションなどいざという時の《備え》と《心構え》が促されていますが、まだまだ不足しているのも現実です。チャンプ会員の皆様には各地の自治体で災害対策に携わっておられる方が多いです。私も最近様々な災害対策のディスカッションに参加していますが、やはり一番求められるのは災害に対する日頃の《心構え》ということです。危機感をもって、想定外かもしれない災害に備え、準備して下さることをお願いします。

**チャンプと次世代チャンプ：**

チャンプは設立27年目になります。今後チャンプをどのように展開するのがベストであるか、シニア会員と次世代チャンプ会員（40/50/60代）は検討しています。一番大きな改革案は、年齢制限を無くし、入会のハードルを低くして、チャンプ参加を全国的に呼びかける、という提案でしょう。詳しい内容は、本号の8ページの報告をお読みください。皆様のご意見をぜひお聞かせ下さるようお願い致します。

**★講習会のお知らせ：**

今後のオンライン通信手段として検討されている多機能アプリDiscord第2回講習会を11月10日日曜日10:00～12:00に港区立生涯学習センター204号室で開きます。

音声・ビデオ・テキスト機能を備えたチャットアプリですが、慣れるのに手間取ります。当日は次世代チャンプ会員の湯浅信吾さんが指導してくれます。どうぞご参加下さい。

**★★少々早いですが、2024年チャンプ忘年会のご案内をいたします：**

- ① 関東本部忘年会 12月21日土曜日11:30～14:30 会場「田園調布倶楽部」（定員35名）  
東急東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」（急行が停まります）から徒歩3分・チャンプコーラス部のミニ発表会を予定しています。お申込みは先着順ですので、お早めをお願いします。  
会費：フルコース（飲物・税サ込み）7,500円/人。
- ② 関西支部忘年会12月17日火曜日 17:30～20:30 会場：大阪倶楽部「大阪会館」にて

Best wishes, チャンプ代表 山本儀子 Noriko Yamamoto

チャンプのHPは、「チャンプの会」で検索して下さい。

チャンプのメールアドレス：[info@champuniversal.com](mailto:info@champuniversal.com)

アメリカは目下11月5日火曜日の大統領選の話題で持ち切りです。このニュースレターがお手元に届く頃（10月第5週）は投票日の1週間程前になるでしょう。

今回はその大統領選と、今最も注目されているテクノロジー天才事業家イーロン・マスク氏の話をお伝えします。

**1) 大統領選について：**ご存知のように11/05（火）の国民投票総数によって直接大統領が決まる訳ではありません。各州には選挙人Electorsが人口数に比例して割り当てられていて、投票獲得数が多い候補者が当該州の選挙人を全て獲得します＝例えばカリフォルニア州は選挙人が全米で一番多い55人で、同州で最も州民投票が多い候補者の党が55票全部を獲得するWinner takes allというような仕組みです。全米の選挙人総数は538で、270以上を取れば大統領になります。

さて9/10（火）大統領選に多大な影響を及ぼすというテレビ討論会ABC主催が民主党候補のKamala Harris現副大統領と共和党候補の前大統領Donald Trump氏の間で開かれました。両党の支持者はまさに固唾を飲んで二人の討論を見守ったのですが、結果はどちらに投票が傾くか等の明白なものではありませんでした。確かにHarris氏は落ち着いた対応でTrump氏よりゆとりをもった返答でしたが、どちらに投票するか未決定な人達が納得するような説得力ある政策発表はありませんでした。一方のTrump氏は普段より自重し穏やかではありましたが、移民問題になると“オハイオ州Springfieldでは移民が犬や猫などやペットを食べている”と発言し、明らかに証拠のないクレームを主張、Harris氏の不法移民取締りに対する無政策を責めました。討論会の結果は、ややHarris氏が有利と出ましたが、現在も接戦が続いています。

10/01（火）副大統領候補討論会CBS主催の民主党Tim Walz（ミネソタ州知事60才）と共和党JD Vance（上院議員40才）の結果は、Vance氏やや有利だが互角という評価で、大統領選の現況に変化をもたらす内容とはなりません。

★中東における報復の応酬もアメリカの大統領選に影響を及ぼすとみられ、緊迫した情勢が続きます。

**2) Elon Musk氏について：**イーロン・マスクと言えばまさに新テック時代の申し子というイメージですね。1971年6月生れ53才の若さで、宇宙企業スペースXや同社の衛星通信サービス「スターリンク」、電気自動車（EV）大手米テスラの統括者です。SNS「X（旧ツイッター）」の所有者でもあります。

私の注意を引いたのは9/13（金）日経新聞に掲載されたFinancial Times Opinion欄「マスク氏、ミサイル級に危険」というFT紙の外務担当主幹コメンテーターGideon Rachmanによる指摘です。ここではマスク氏が各種テクノロジーを介して、地球規模の政治・経済：社会へ影響を及ぼす現状に警告を発しています。例えば、ロシアが2022年2月にウクライナに全面侵略を始めた狙いの一つはウクライナのインターネット通信の遮断であったのを、スペースXが展開するスターリンクへのアクセスをウクライナに提供したおかげで、ウクライナ軍は戦闘を続けることが可能になりました。ところがマスク氏は2023年8月にTrump氏支持をツイッターで公開、9月ウクライナのスターリンクへのアクセスを制限、ウクライナ軍がクリミアにいるロシア軍を攻撃する取り組みの妨害を開始しました。“マスク氏がどの国の政府よりも権力あるかのように話し行動するのはある面、それが事実だかもしれない”と危惧。

しかしながら、新たな動きが見られます。

2024年8月以降は、GAFAM(Google/Apple/Facebook/Amazon/Microsoft)並びにマスク氏のような巨大テクノロジー各社への法的規制元年となるようです。

各国政府が、法律をつくり執行する力を持って、新たな「通信基準」を創ろうと動き出したのです。

自由で公正な通信がいかに可能で維持されるか、が改めて試される新時代が来ました。

\*\*\*\*\*

# チャンプ第91回例会報告 9月29日（日）

日時： 2024年9月29日（日）  
10:00~12:00  
会場： 港区立生涯学習センター205号室  
参加者： 16名+zoom参加4名

- 開会挨拶：安斉運営委員長
- 「アメリカよもやま話」：山本儀子代表

- 1) アメリカ大統領選について
- 2) Elon Musk氏について

（詳細については本号3Pをお読みください）

- 会員スピーチ 宮尾 賢 チャンプ会員  
「ニューヨーク・タイムズから世界を見る」

（スピーカーは宮尾さんの予定でしたが体調不良のため欠席となり、宮尾さん作成のPPTを映写しながら山本代表が代理で解説をされました。以下はその概要です。）

## 1) 中国とどう向き合うか

・台湾を訪問して私はアメリカの中国に対する姿勢について危惧を覚える（ニコラス・クリストフ）

・マイケル・マレン提督（元統合参謀本部議長）：「アメリカと中国の関係は一触即発状態。1962のキューバ危機以来の非常事態だ」  
・空軍大将マイケル・ミニハン：「中国との戦いは近いうちに必ず起こる。私の勘では2025年には始まるであろう」

・私自身が台湾を訪問して得た結論：アメリカの軍民関係者は中国との紛争、特に中国が総力で台湾に侵攻する可能性を過大評価している。

・前台湾総統 蔡英文氏：「中国は現在、内政面の問題が多すぎて台湾侵攻を企てる余裕はないだろう」

（2023年11月、NY Times 主催の国際会議での発言）

・野党国民党総裁 馬英九氏：「中国は今、台湾侵攻の戦争を始めるようなムードにはない。少なからぬ数のアメリカのオピニオンリーダーや政治家が台湾についての外れの発言をするのに困っている」

（今回の台湾訪問時に筆者との会談で語った）

・蔡英文氏に替わって台湾総統に就任した頼清徳氏：「中国と台湾の関係は不安定で必ずしも満足のいくものではないが、当面は現状を維持すべく努力する」

（頼氏の判断は慎重で真に妥当なものと思う。）

・安全保障の為にこれ以上労力や費用を使いたくないというのが台湾人の本音のようである。  
・台湾国防部のスポークスマン孫立方少将：「中国が仕掛けてくる形而上的戦争（cognitive warfare）即ちインターネットやその他のメディアで偽の情報や画像を大量に流し台湾人の戦意を喪失させる戦略に十分な備えを固めるべし」

（今回の台湾訪問中に聞かされた現地の有力者の意見の中で最も敬服したのは台湾積体回路製造（TSMC）の前会長 劉德音氏の次の言葉だった：「私は台湾を心配して

くれるアメリカの人たちに対中国政策はDo more, Talk less（不言実行）が大切と申し上げたい」

・現在、アメリカの国全体が中国恐怖症に陥っている。中国という文字が付いているだけで過剰反応する。その結果、中国の脅威を正しい文脈で捉え対応する力を失いつつある。・私がもっとも心配するのは中国恐怖症ともいべきこれらの動きがアジア系アメリカ人に対する偏見や差別を強化させ新しい“黄禍論”につながりはしないかという点である。

Let Us Take a Deep Breath About China !!

- ・この二つの論説が示唆するもの
- ・「台湾有事」の掛け声に踊らされて軍事的抑止力強化のみに目を向いている
- ・冷静な目で日本・中国の関係を分析・評価して外交と軍事的抑止力のバランスの取れた総合的安全保障政策が必要。
- ・台湾と中国は同じ民族、同じ言語を話すので、表には出て来ないコミュニケーションが存在するであろう点に留意。台湾と中国は対決しているようだが同時に色々な分野、レベルでつながっている。中国・台湾のリアルな関係の実態を把握する必要あり。

垂 秀夫氏（前駐中国大使）の下記の見解に注目

短期的に見ると中国の台湾への武力行使はないだろう。中国と台湾が「平和的解決」に合意することを危惧する。中国との継続的ダイアログが必要である。（文芸春秋 2024.6月号）

## 2) モンタナ州の地産地消運動

人口の数より多くの牛を飼っているモンタナ州で住民は何故ブラジル産の牛を食べねばならないのか？

（記事：スーザン・シェイン 写真：レベッカ・スタンプ）

モンタナ州では人口の二倍以上の牛が育つのだが、モンタナ州の住人が食べる牛肉の内、地元産は僅か1%ほどに過ぎない。その結果、モンタナ州民は他の週に住むアメリカ国民と同じように遥か離れたブラジルから輸入された牛肉を食べるはめに陥るのだ。

その理由は次のようなサプライチェーンの構造にある：

・牧場主から牛を買い付けて屠殺、処理をするミートパッキング業界は JBS, タイソン、カーギル、マーフリの4社が全米の85% を押さえている。  
・処理された牛肉を輸送し全国に配送するディストリビューター業界は

シスコ、USフーズといった大手が殆どを押さえている。

・消費者へ小売りする食品流通業界（スーパーマーケット）は ウォルマート、コストコ、クローガー、アルバートソンの4社が約60%を寡占している。

コール・マニックス(Cole Manix)はこの畷から脱出しようと奮闘している。彼は創業者から数えて五代目の当主で、何とか牧場を次の世代（六代目）に引き継ぎたいと

## 納涼会を開催 手島達夫

決意して、2021年、志を共にする仲間を糾合して、モンタナ牛の既存のサプライチェーンの罫から逃れようとオールドソート共同組合（Old Salt Co-op）を立ち上げた。マニックスと他の4つの牧場主が取り組んでいるのは、生産、屠殺、小売のすべてを自分たちで行う「垂直統合型」の事業である。これは相当の資金を投下する必要があり、且つ大手のに対抗できる戦略が必要で大きなリスクを伴う。

新規事業として計画しているもの：・ウェブサイトを利用して牛肉のサブスクリプション・サービス

（今後5年間で1万所帯の顧客を開拓するのが当面の目標）  
オールドソートの出資者の一人アンドリュウ・メース氏：「消費者の購買習慣を変えるのは相当な努力が必要だろう。彼らには定期購入するのは単に肉を買うことではなくモンタナ州の環境改善に投資していることを理解してもらう必要があるだろう」

これは非常に重要なポイントである。マニックス氏がモンタナ州にいる九千人の牧場主からオールドソートの数人の仲間を選んだのは、単にビジネスパートナーとしてではなく、常に土壌を改良してサステナブルな牧場経営を行い、次の世代に引き継ごうという彼の持論に共鳴してくれたからなのだ。こうして4つの牧場が会社の管理下に入りその面積は20万エーカー（約8億㎡）に及ぶ。

オールド・ソートの事業が示唆するもの

- ・「地産地消」を実践することで地方の雇用を生み出し、そこから得た利益で地方の経済活性化に貢献するだけでなく、先祖から受継いだ牧場を土壌改良を行って持続的に維持、発展させるという「社会的使命」を実現しようとする。最近よく言われる「パーパス重視の経営」である。
- ・グローバルズムに対する一つのアンチテーゼである。巨大化、寡占化したサプライチェーンは効率的である反面、自然災害、サイバーアタックなどへの脆弱性が指摘される。グローバル化を全面的に否定することはできないが、適正な規模のサプライチェーンが各地で機能することでその弱点が補完される。消費者には別の選択肢を提供できる。
- ・トランプ氏のMAGA(Make America Great Again)もグローバル化から取り残された人々の「負のエネルギー」を結集したネガティブなアンチテーゼと言えるが、モンタナ州の牧場主たちの事業はよりポジティブな活動である。このような運動が各地で盛んになれば、所得格差、学歴格差などから生まれる社会の分断を是正するのに役立つのではないか。（以上要約）

●11:15~12:00 ①次世代チャンプの会進展報告&質疑応答（次世代チャンプ会員の田邊夫妻と吉兼会員が次世代の活動について意見を述べたが時間不足のため今後の継続検討ということで内容は割愛）

●各活動会からの報告 「チャンプ散策の会」から秋の例会の企画報告あり。

（以上 文責：中林）

毎年恒例の納涼会が8月18日（日曜日、目黒”雅叙園”の昨年増築完成した《CANOVIANO CAFÉ》で開催されました。

金曜日16日からの台風で心配された強風雨は収まったものの、土曜日の東京圏は38度台の高温と高湿度の猛暑で毎日想定外の気温と大気不安定が続く中、18日は猛暑の晴天となり、皆様がロビーに集い、山本代表の案内で長いエスカレータを乗り継ぎイタリアンレストラン《CANOVIANO CAFÉ》に移動しました。

今回も参加者は28名となり盛況で、11時20分、ビールと発泡ワインで安齋会長の音頭で乾杯となりました。《次世代Champの会》のメンバーより田辺直子さん 田邊晴穂さん 保母久美子さん 保母紘一朗さんの4名が参加されました。新潟からは樋口さん、また長野から安江さんも来京され、会話が始まる中、レモン香るサラダから食事が始まりました。

メインのスパゲッティは4種類①和牛ボロネーゼ茄子とほうれん草の生スパゲッティ、②魚介のラグーピスク風海老出汁の生スパゲッティ、③鶏もも肉とゴボウの白いミートソースの生スパゲッティ④釜揚げシラスとキャベツ玉ねぎの生スパゲッティですが、山本代表の交渉力により種類豊富なメニューになったと思われます。

途中、山本代表より、我等の『Champの会』も25周年を迎えましたが、樋口さんの『NPO法人支援センター安心』は25年経継続され、また安江さんの『信州まちづくり』も24年継続され、前会員の四本さんは『車椅子ダンス』を日本で普及され30年継続されていることを紹介され、《次世代Champの会》が今討議されていることも話されました。

13時過ぎに終了し、”雅叙園”の都指定文化財の工芸品である立体壁画や、100段階に繋がる昔の遺構の芸を極めた客室群などを見学し、自由解散になりました。



# 関西支部9月例会報告 岡田 優

日時 : 9月17日(火) 18:00~21:00

会場 : 神戸「神戸倶楽部」幹事: 前田潤さんにて開催  
参加者は、山本代表以下11名でした。

18:00~19:00 開会挨拶(木下支部長)の後

- ・「アメリカよもやま話」—山本代表(15分)
- ・本日の話題「~ 建築家から見た防災への見解 ~」  
—浅野静さん(45分)

19:00~20:45頃まで 乾杯(木下支部長)に引き続き

- ・懇談食事会 フレンチ創作料理

懇談 : (今日の話について+参加者各自近況報告)

回覧資料: 日経新聞9月13日記事「マスク氏ミサイル級  
に危険」(A3コピー1枚)

最後に、次回開催案決定及び写真撮影し、解散となりました。

## ■「アメリカよもやま話」他 —山本代表

1. 現在民主党のカマラ・ハリス氏、共和党のドナルド・トランプ氏と五分五分の戦いになっている。日本ではCNN発のニュース放映が多いがそれは米国民の30%の見解でしかなく、トランプ氏は現状に不満のある庶民にアピールすることを言っていて、アメリカに行けば日本で考えられないくらいトランプ氏支持が高い。トランプ氏には根拠に欠ける主張が多いが、両陣営共に一長一短ある中で、言ってみればどちらがより悪くないかという選択。トランプ氏の支援を表明しているイーロン・マスク氏も結構危険。技術情報、テクノロジー分野で世界に大きなインパクトを与えているが暴走しそう。但し法律をつくり執行する力はマスク氏にはないので、文系の常識が加えられる余地もあるのではないだろうか。

2. CHAMPは今変換期にある。現会員110名の内7割が後期高齢者になっていて、我々がCHAMPを始めたのが50歳代だが、今はもう後期高齢。現在40~60代のメンバーは14人しかおらず、会合などに参加しているのは数名のみ。若い世代をもっと巻き込まないとシニア会員が減少して自然消滅してしまう危惧を感じる。

今、彼ら若手の考えや、早稻田の矢口先生の見解を訊いて「次世代チャンプの提案と実施方策」を検討している(DAO自律型分散組織体制やチャットアプリDiscordの活用など—詳細別途配信資料参照)。関西支部の皆さんも今後どうしていったらよいか、是非提案して欲しい。

## ■「建築からの防災について」

話題提供—浅野静さん(株式会社エトス・アソシエイツ  
一級建築事務所代表取締役)

建築からの防災は一概にこうと言えない難しさが多々ある。そのテクノロジーをイーロン・マスクに考えて貰いたい位だ。

1. <<①丈夫な建築と②避難方法の2つに尽きる>> し

かし、耐震設計→新耐震設計と大災害が発生するたびに改正される基準であるが、後追いで追いつかないのが現実。南海東南海トラフ地震、地球温暖化→地球沸騰化に関係する線状降水帯によるゲリラ豪雨災害など、想定を超える災害が発生する中で、建築で考える対策にも限界はある。

2. <<構造で肝心なのは基礎部分>> フラワーロードの軒並み倒壊などは基礎の変形に大きく起因していた。

(そういえば能登半島地震でビルがそのまま大きな音もなく倒れていたというのも基礎は地中梁方式でしっかり設計されていたのに地盤の不同沈下によるものだったとの調査結果をテレビ番組で聞いた/筆者)

3. <<建築と土木の壁>> 私は今年一年、建築と土木は違うという考え方に翻弄され棒に振ってしまった感がある。阪神淡路大震災の時にも地下の構造物はほとんど無傷であったことから土木でとられるアースアンカー方式の考えを持ちこんだ基礎設計を提案したのだが、論理的にいくら説明しても、土木と建築は違うという概念論で却下されてしまう繰り返しだった結局岩盤の上に基礎打ちする建築的手法を取らざるを得なかった。

4. <<目先の基準クリアだけでよしとせず現実に即した方策を>> 小中学校などの耐震化でも、壁面にハードブレースを入れて補強完了のようになっているが、基礎の耐震もしないとだめで液状化や捻れ応力への対策なども重要なはず。この辺りには六甲山から流れる夙川、宮川、芦屋川など何本かの川があるが六甲山麓には何十か所と埋め立てられた土地がある、埋め立てし「はい出来上がり」というところは地震が来れば液状化で沈下する。そこに住む人たちがいざという時にどうするかを考えておかないといけない。

今の都市排水能力は50mm/hを一般に基準としているが、70~80mm/hの台風、ゲリラ豪雨などが来たら全く間に合わず直ぐ内水氾濫し、アンダーパスなどは通行止めに、軒並み床上浸水してしまう事態になる。

火災に対して建築基準法でも、ある規模以上の建築では二方向避難の確保が義務付けられているが目先のルール通りという事ではなく、規模に関わりなく狭い通路や、隣の屋根を伝ってでも避難できる通路を極力確保してあることが大切。避難口への誘導灯もドアの上に付けてよしとしているが、火災発生時には煙が充満するので這って移動しなければならず、床面にこそ表示すべきだ。

建物は耐震化しても70m/sec、80m/secの台風が来たらどうなるの? 結局、「自然相手だからしょうがないね」という話になってしまうけれど、これからの防災は心構えしか無いのか。皆さんの考えもお聞きしたいところ。

(以下、他メンバーの意見含め)

綺麗な住宅地での販売にあたり「地震が来ても壊れま

せんか？」と聞かれるが…「壊れます」。壊れる前に如何に逃げられるようにしておくかがテーマではないか。では「心がければいいんだ」というのはやはり他人ごとなのだ。何でも役所だ、法令化だというのでは対応しきれない。

今、梅田北エリアに広い公園を作って避難拠点にもしているが、いざという時のためにトイレの取り出し口がザアッと現れる。以前、汚排水を田んぼに流さざるを得ないことがあって、ろ過装置を使ったことがあるが、ろ過装置も良いものはある。タワーマンションにしてその分広場をいっぱい作り、避難場所としても計画するなど考えられる。それらいろいろなことを総合的に考えて対処する必要がある。

埋め立て地や地盤の悪いところなど、地名を読み解くと分かることが多いのではないかと。何故そんなところに住むのだろうか？神戸でいうと南京町は震災を受けていない。建物は地盤なのだという事を賢くも分かっていたのかも知れない。谷を埋めて造成しても買う方は分からない。日当たりだとか景色だとかコンビニエントだとかに目を向けてしまふのだ。

やはり平屋が安全と思う。50~100㎡のができるとよいと思う。東京のタワーマンションに何億円も払って住もうという人の気が知れない。この歳で避難だなんだというのは本当に課題だと思う。一度それぞれにどう対策を取っておくか、考え実行しましょう。

### ■乾杯の言葉／木下支部長

「県政刷新という事で登場した斎藤兵庫県知事の今回の件で神戸も大変ですけど、最近マスコミの論調も少し変わってきたようで真実のところは判らんなあと思うけれど、CHAMPを若い会にどの様にして切り替えるのか、リードは山本さんにお任せし乾杯します。…「乾杯！」」司会の立場ではないけれど、浅野さんの絶望的なご報告でしたが、30分くらいあったらまた各自に近況報告をお願いします。／幹事前田さん

■**歓談内容**：（防災の備えは皆さん何を／ビルのガラスと風速の関係は／この神戸倶楽部は、阪神淡路地震の影響を受けておらず何ともないが、耐震にせよと言われ、補強するか建て替えるかで、建て替える方向なのだが、何れにしても勿体ない。／勿体ないと言えば、日本で家電製品はちょっとした部品（在庫保証期間は8年のみ）がダメになっただけで直さず廃棄?! メーカーの都合か量産品の宿命か、無駄が多い—日本は戦後本当におかしくなっているなど）

■**近況報告**：（ごく一部を筆者独断で抜粋）・住育協会は役職返上、これからの時間をどう使おうか思案中—自分は何をしたかったのか、好きなのか?を考えつつ『グローバル共和国』に入会。CLUBHOUSEというアプリを使って毎朝チャットコミュニケーション。オフ会もあり【卑

弥呼ツアー】なる企画をした人がいて、1泊2日の奈良旅行／・一族集まると三世代13人、夏は素麺流しを企画実行、或いはオートキャンプ場にみんなで行ってバーベキュー会／・里親制度でコロンボにいる娘に会いに旅行、29年ぶり。27,000円/年で家族中大喜びしてくれる。スリランカでは24,000円で学校に行ける（初任給は20,000円ほど）／・神戸市内だけで100m越えの超高層を3本ほど、東京では森ビルさんとやったが、一寸しまったかなあと思っている。今日のお話を聴いていると別のやり方もあったかも。例えば地下ビルとか。超高層の長周期震動のシミュレーション実験で振れ幅95cmだと、固定していたグランドピアノは滑っていくワ、置いてあった刃物は向い側の壁に突き刺さっているワ、ですから。

### ■中締めという言葉／山本代表

「CHAMP設立27年 四半世紀を50才代から始めて今まで繋がってきたというのは、皆さんが信念を持って社会を良くしよう、自分を高めようとしてきたからに違はなく、それをベースに自分、家族、仕事に関して精一杯やって来たのだと思う。日本の抱えるいろいろな問題を考え、アメリカとの縁を考える中で今の自分に何が出来るかと、問われているように思います。これからのCHAMPに大切なこと、信念と夢を持って頑張ってください。今後とも皆さん宜しくお願いします。」

■次回は12月17日大阪にて 幹事は北沢さん  
話題提供「『町家をトーク』も25周年」一岡田  
会場候補は「大阪会館」です。

以上、文責 岡田優



## 活動会メモ

### 1. 英語を共に学ぶ会

9月28日に第269回をZoomで開催、レポーターは高橋嗣雄会員、テーマ「少子化問題」参加者は8名。毎月1回開催中（詳細はHP参照）

（幹事：高橋嗣雄）

### 2. チャンプ・LINEの会

常時自由なトーク交換が行われています。（幹事：手島達夫）

### 3. チャンプ散策の会

第5回「大田黒公園散策と会食」を11月26日（月）に開催予定。

（幹事は6名）

### 4. コーラスを楽しむ会

10月11日に第29回を実施。毎月第2金曜日10:00～12:00に開催します。

（幹事：中林由行）

### 5. スケッチ散策会（関西）

例会等と連動しての開催を企画中

### 6. ゴルフ愛好会

次回の開催を企画中。

（幹事：森田宏次）

・以下は現在休止中です。

### 7. 日本文化を語る会

### 8. 水彩画教室

### 9. 海外を見てみる会

## ■「チャンプ忘年会」予定

日時：12月21日（土）

11:30～14:30

会場：フレンチ「田園調布倶楽部」

（大田区田園調布1-52-17）

info@champuniversal.com

にお申込み下さい。

## ■関西チャンプ忘年会予定

日時：12月17日（火）

17:30～20:30

会場：大阪倶楽部「大阪会館」

（幹事：北沢一記）

## ★チャンプ散策の会「大田黒公園散策と会食」予定

日時：11月26日（火）10:30 荻窪駅集合

参加希申込は info@champuniversal.comに

## ★「Discordアプリ講習会」予定

日時：11月10日（日）10時～12時

会場：新橋生涯学習センター 204号室

参加申込は info@champuniversal.comに

## ■チャンプと次世代チャンプについて

山本儀子

2024年初頭から私の心を四六時中占めていたのは、設立27年目となるチャンプのこれからの活動です。会員の70%が後期高齢者で、最多年齢層は80才代です。皆現役で多忙な時代に「元気なシニアが、経験と知識を自己と社会の向上のために役立てよう」という主旨に集まりました。その創設シニア会員がやや体力の減退を感じる頃となりました。チャンプの設立主旨を維持しながら、新たなチャンプの活動を考えたいと思い、次世代チャンプ会員（40/50/60代・現在14名）の皆さんに今年に入って数回集まっていたき、メールで意見交換をして参りました。会員皆様にはその検討内容を随時配信させていただきましたが、お読みいただいているでしょうか。

本稿では、これまでの検討事項に関する現時点での皆様の共通意見と思われる内容をお伝えします。

**1) 会費を大幅に低減し入会のハードルを低くする**：年齢の枠を取り払い、会費を出来るだけ安くして広く会員を募り、多数の会員を迎え入れる。広く呼び掛ける方法としては費用のかからない方法＝無料でできることからやる＝その方法としては、SNS（Facebook, X, noteなど）の活用が挙げられている。

に関してですが、まず会費をどこまで下げるか（年会費500円～1,000円などが提案されています）を決めることが必要でしょう。季刊発行のニュースターをデジタル配信とし、その他経費は最大限節減（但し、年4回の例会はオンライン参加と併行して、従来通り交通至便な会場で開催）することを検討。年会費は経費節減の程度と範囲によります。また、NLの活字媒体受取り希望者は、その経費を別途負担という形が提案されています。これらの詳細の取り決めを行うために次世代チャンプメンバーの中から数名の準備委員を選んで作業をすることが必要です。

私からは、年齢枠を取り払い広く会員を募る「呼びかけ活動」と、これまでのチャンプ運営を併行して進め、「呼びかけ活動」の進行具合により随時修正を加えるという試行方式を取るアプローチが現実的で実現可能な方法として提案いたします。

早稲田大学矢口先生が指摘されたように、“人集めにはどの団体・組織も苦勞している。SNSなどによる呼びかけは、やってみないとどれ位の人が集まるか、全く判らない。現行のチャンプ運営と併行して試してみてもどうか”、です。

但し新方向の実施には、9/29（日）例会で実現したようなシニア会員と次世代チャンプ会員間での意見交換が、今後も必要ですね。チャンプの未来に関する大切な事案ですので、もう少し時間をかけて検討いたしましょう。

### 2) 多世代の人達が魅力あると感じる「楽しく役に立つ活動会」の創出：

シニア会員から下記のような活動会が提案されています。

- ★人命救助の教室（災害時に身近に役立つ初歩訓練と知識の共有と学ぶ会）、
- ★新「投資クラブ」：NISAをピークルとして展開する新しい投資活動会、
- ★「異業種交流会」若い世代に限らず、違う業界の人と交流する場と機会を提供、
- ★「健康と食に関する活動会」地方の穀物や野菜や果物の産地・生産者とチャンプの会員を繋げて安全でおいしい食物を宅配で手に入れられるようにし、可能であれば産地とリアルな交流をするような活動、教室（自己発言・表現力の育成）、
- ★多世代のデジタル教室（若い世代がシニア世代にデジタル手法を教える会）など。
- ★次世代メンバーからの積極的提案をお願いいたします。

### 3) 新しいコミュニケーションツールとして検討中の多機能なDiscordアプリに慣れる練習会

ZOOM機能やメッセージをやりとりするチャットサービスや音声通話機能、画面共有機能などさまざまな機能があり、パソコンのブラウザやスマホのアプリでも利用できるのが特徴です。11/10（日）に第2回講習会を開催します（本号Page 1参照）。

シニアと次世代両会員の活発な意見交流を大切にするチャンプ活動を期待します。